



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テクノスマート
コード番号 6246 URL <http://www.technosmart.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部統括部長
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 進
(氏名) 山田 靖
配当支払開始予定日

TEL 06-6253-7200
平成28年12月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,427	14.8	302	—	304	—	199	—
28年3月期第2四半期	3,856	△30.8	△17	—	△0	—	△3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.85	—
28年3月期第2四半期	△0.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	16,061	10,334	64.3	975.41
28年3月期	15,830	10,164	64.2	959.38

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,334百万円 28年3月期 10,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	24.9	600	92.3	620	80.5	400	90.5	37.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	10,821,720 株	28年3月期	10,821,720 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	226,575 株	28年3月期	226,575 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	10,595,145 株	28年3月期2Q	10,595,328 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
品目別売上高、受注高、受注残高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①経済情勢及び業界の状況

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済では穏やかな景気の拡大が続きましたが、欧州での英国のEU離脱を巡る不確実性や、中国経済の下振れ懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済は、世界経済の不安定な状況を背景に円高が進行し、個人消費の低迷や輸出企業の採算の悪化などにより、回復基調が足踏みし、停滞感が続きました。

このような状況下において、光学系フィルム業界では、新規投資を進める企業と規模の縮小や委託加工に方向を替える企業など二極化が進んでいるようです。当社においては、スマートフォン、タブレット端末用として光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置、自動車用リチウムイオン二次電池や他のエネルギー関連及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。その結果、国内及び中国における光学系フィルム塗工装置業界及び車載用リチウムイオン二次電池業界では、大型設備投資を行う企業が現われはじめ、受注環境に変化の兆しが見られました。

②売上及び損益の状況

売上高は、4,427百万円(前年同期比14.8%増)となりました。主な最終製品別売上高は、薄型表示部品関連機器が708百万円(前年同期比51.6%減)、機能性紙・フィルム関連塗工機器が548百万円(前年同期比22.4%増)、電子部品関連塗工機器が124百万円(前年同期比88.9%減)、エネルギー関連機器が2,168百万円(前年同期比6.3倍)、化工機器が500百万円(前年同期比2.5倍)となりました。売上高に占める輸出の割合は、海外向けエネルギー関連機器の増加により67.5%(前年同期は42.8%)となりました。売上総利益は、645百万円(前年同期比2.1倍)、売上総利益率は、14.6%(前年同期は7.7%)となりました。販売費及び一般管理費は、343百万円(前年同期比9.2%増)となりました。営業利益は、302百万円(前年同期は営業損失17百万円)、経常利益は、304百万円(前年同期は経常損失0百万円)、四半期純利益は、199百万円(前年同期は四半期純損失3百万円)となりました。

③受注の状況

受注高は、9,873百万円(前年同期比91.7%増)、その内輸出受注高は、8,343百万円(前年同期比4.5倍)となりました。受注残高は、8,559百万円(前年同期比62.9%増)、その内輸出受注残高は、7,191百万円(前年同期比4.5倍)となりました。

品目別内訳は、スマートフォンやタブレット端末などの薄型表示部品用の光学フィルム塗工装置や、タッチパネル用ハードコートフィルム塗工装置及び車載用リチウムイオン二次電池や燃料電池用エネルギー関連部材用塗工装置と、FPC関連用塗工装置で構成されております。

個別の受注金額は、中国市場など新興国を最終需要先とした国内企業をはじめ、中国や韓国企業向けでも、国内外の設備メーカーの価格競争は大変厳しいものとなっています。しかしながら、最近の中国における液晶パネルの大幅増産の見通しにより、光学フィルム関連塗工装置の需要が見込まれ、当業界向けの受注活動の強化に努めたいと考えております。また、光学フィルム関連と合わせて、車載用リチウムイオン二次電池や燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

総資産は、16,061百万円(前期末比1.5%増)となりました。これは主に土地の取得によるものです。負債は、5,726百万円(前期末比1.1%増)となりました。これは主に借入金の増加によるものです。純資産は、10,334百万円(前期末比1.7%増)となりました。自己資本比率は64.3%(前期末は64.2%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期累計期間に比べ1,654百万円増加し、6,453百万円（前年同期は4,798百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,176百万円（前年同期は得られた資金2,544百万円）となりました。これは主に売上債権の回収によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、183百万円（前年同期は使用した資金8百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、255百万円（前年同期は得られた資金93百万円）となりました。これは主に長期借入れによる収入によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、平成28年5月13日に発表しました平成28年3月期決算短信における平成29年3月期業績予想値で、変更はありません。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する機器等は受注生産のため実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,305,322	6,553,277
受取手形及び売掛金	5,954,651	4,435,388
電子記録債権	-	404,249
仕掛品	229,144	242,252
原材料及び貯蔵品	39,047	42,827
その他	179,465	113,874
流動資産合計	11,707,631	11,791,869
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	793,485	775,381
機械及び装置（純額）	213,946	207,911
土地	1,836,830	2,026,482
その他（純額）	95,900	85,486
有形固定資産合計	2,940,162	3,095,261
無形固定資産	6,019	9,826
投資その他の資産		
投資有価証券	930,619	980,916
その他	248,851	186,026
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,177,170	1,164,642
固定資産合計	4,123,353	4,269,730
資産合計	15,830,985	16,061,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,188,263	2,288,226
電子記録債務	-	571,071
短期借入金	594,957	758,632
未払法人税等	139,972	113,953
前受金	44,305	129,622
引当金	123,692	123,909
その他	123,636	90,440
流動負債合計	4,214,827	4,075,856
固定負債		
長期借入金	421,350	587,594
退職給付引当金	521,064	554,623
資産除去債務	8,898	8,898
その他	500,013	500,013
固定負債合計	1,451,326	1,651,128
負債合計	5,666,153	5,726,985

（単位：千円）

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,125	1,003,125
資本剰余金	515,858	515,858
利益剰余金	7,467,324	7,592,882
自己株式	△109,283	△109,283
株主資本合計	8,877,024	9,002,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	183,367	227,592
土地再評価差額金	1,104,439	1,104,439
評価・換算差額等合計	1,287,806	1,332,031
純資産合計	10,164,831	10,334,614
負債純資産合計	15,830,985	16,061,600

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	3,856,113	4,427,906
売上原価	3,560,043	3,781,923
売上総利益	296,069	645,982
販売費及び一般管理費	314,007	343,007
営業利益又は営業損失（△）	△17,938	302,975
営業外収益		
受取利息	146	228
受取配当金	14,620	14,615
その他	9,066	6,569
営業外収益合計	23,833	21,412
営業外費用		
支払利息	3,613	3,682
保険解約損	2,758	12,890
その他	399	3,159
営業外費用合計	6,771	19,733
経常利益又は経常損失（△）	△876	304,654
特別利益		
投資有価証券売却益	-	735
特別利益合計	-	735
特別損失		
出資金評価損	-	4,400
特別損失合計	-	4,400
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△876	300,989
法人税等	2,307	101,265
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△3,184	199,724

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 （△）	△876	300,989
減価償却費	52,312	54,925
受取利息及び受取配当金	△14,766	△14,843
支払利息	3,613	3,682
売上債権の増減額（△は増加）	2,867,717	1,115,013
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,687	△16,888
仕入債務の増減額（△は減少）	△138,893	△338,330
前受金の増減額（△は減少）	△59,402	85,317
その他	△84,425	108,260
小計	2,602,591	1,298,127
利息及び配当金の受取額	14,766	14,843
利息の支払額	△3,613	△3,682
法人税等の支払額	△69,470	△132,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,544,274	1,176,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,683	△222,976
有形固定資産の売却による収入	578	-
投資有価証券の取得による支出	△643	△653
投資有価証券の売却による収入	-	910
その他	1,200	39,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,547	△183,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	575,000
長期借入金の返済による支出	△222,382	△245,081
自己株式の取得による支出	△399	-
配当金の支払額	△83,335	△74,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,882	255,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,629,609	1,247,954
現金及び現金同等物の期首残高	2,169,266	5,205,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,798,875	6,453,277

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目	前第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		当第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		(参考) 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	塗工機械	3,592,736	93.2	3,692,621	83.4	8,312,671	94.4
	化工機械	174,980	4.5	633,893	14.3	299,664	3.4
	その他	88,396	2.3	101,391	2.3	194,797	2.2
	計	3,856,113	100.0	4,427,906	100.0	8,807,133	100.0
	内輸出高	1,651,687	42.8	2,988,026	67.5	3,121,050	35.4
受注高	塗工機械	4,858,708	94.3	7,876,734	79.8	6,969,651	87.5
	化工機械	196,615	3.8	1,893,496	19.2	799,390	10.0
	その他	96,591	1.9	103,600	1.0	192,241	2.5
	計	5,151,915	100.0	9,873,830	100.0	7,961,283	100.0
	内輸出高	1,856,594	36.0	8,343,794	84.5	3,567,135	44.8
受注残高	塗工機械	5,112,815	97.3	6,687,935	78.1	2,503,823	80.4
	化工機械	114,708	2.2	1,852,401	21.6	592,799	19.0
	その他	27,437	0.5	18,896	0.3	16,686	0.6
	計	5,254,961	100.0	8,559,233	100.0	3,113,308	100.0
	内輸出高	1,594,306	30.3	7,191,250	84.0	1,835,483	59.0